

平成 17 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 アジア パシフィック システム総研 株式会社
代 表 者 の 職 名 代表取締役会長 木 庭 清

(J A S D A Q コード番号 : 4 7 2 7)

問 い 合 わ せ 先 取 締 役 木 庭 稔 雄
GS カンパニー本部長

T E L 0 3 - 3 9 8 5 - 4 3 1 1

特別損失の発生および平成 17 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

1. 特別損失発生のお知らせ

システム構築における不採算案件について顧客と協議の結果、プロジェクトを中止し、その精算として15百万円の解決金を支払うことで合意しました。また、当該プロジェクトの中止決定までに計上していましたが仕掛品66百万円の損失処理と合わせて81百万円を特別損失に計上致します。当社と致しましては、品質管理部門からの指導をいっそう強化し、不採算案件の防止と早期発見に努めて参る所存でございます。

2. 平成 17 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 11 月 24 日に公表いたしました平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせ致します。

(1) 当期の業績予想数値（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,700	145	780
今 回 発 表 予 想 (B)	5,388	163	701
増 減 額 (B - A)	312	18	79
増 減 率 (%)	5.5%	12.4%	10.1%
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 16 年 3 月 期)	5,033	86	1,745

(2) 修正の理由

売上高については、引合案件のレビューにて案件の絞込みを行ったことにより約5.5%程度減少する見込みではありますが、経常利益につきましては、CMMiに準拠した品質管理、開発工程を取り入れたことにより、生産性の向上とコスト削減の効果を引き出した結果、予想値を上回り約12.4%程度増加する見込みであります。当期純利益につきましては、1の「特別損失発生のお知らせ」のとおり、特別損失を計上した結果、当期純利益が約10.1%程度減少する見込みであります。

注) 上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、監査等の状況により業績予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上